

料金別納
ゆうメール

7~9歳のわんちゃんへ 秋の健康診断のお知らせ

春に健康診断を受けた方は半年前と変わりがないかチェックを、
春に受けていない方はこの機会に受診しませんか？

健康診断コースは11月30日までです

かんたんコース

- 血液検査
血球検査・生化学検査6項目

きほんコース

獣医師
推奨

- 血液検査
血球検査・生化学検査12項目
- 甲状腺ホルモン1項目
シニア犬に多いホルモンによる
病気を調べます

しっかりコース

- 血液検査
血球検査・生化学検査12項目
- 甲状腺ホルモン1項目
シニア犬に多いホルモンによる
病気を調べます
- レントゲン検査・超音波検査
心臓の動きや内臓の形成異常、
腫瘍や結石の有無などを調べます

食事はできるだけ
抜いて来院してください

※血液検査の結果は一週間ほどかかります。

老化のサイン(行動)

人間と同じく老化にも個人差があります。「まだ〇歳だから大丈夫！」とは言わず
サインが出ていないか定期的にチェックすることが大切です。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 段差をスムーズに越えられない | <input type="checkbox"/> スムーズに立ち上がれない |
| <input type="checkbox"/> つまづくようになった | <input type="checkbox"/> 呼んでもあまり反応しない |
| <input type="checkbox"/> 黒目が白っぽい *1 | <input type="checkbox"/> 物によくぶつかる *1 |
| <input type="checkbox"/> 食べ方が遅くなった *2 | <input type="checkbox"/> 固いものが食べられなくなった *2 |
| <input type="checkbox"/> 遊びたがらなくなった、すぐ疲れるようになった *3 | |

「老化だと思っていたら病気だった」ということも少なくなく、初期で発見出来ると
進行を遅らせることができる治療がある病気もあります。特に突然上記のような症状が現れた場合は
様子を見ずに早めに病院で見てもらいましょう。

老化と病気について詳しくは裏面へ





老化による体の変化



表面のチェック表はどうでしたか？

チェックの内「*」がついているものは、病気によることもあります。

- *1 目の疾患に関係すること。目薬などで進行を遅らせる予防法などもあります。
- *2 歯周病に関係すること。歯周病になっていると、歯石を歯肉内からしっかり取り除いて日々ハミガキなどで口腔内ケアをすることが必須になります。
おうちの状態によってはサプリメントで対応することもあります。
- *3 心臓の病気によることもあります。
落ち着いている時と疲れている時の歯茎や舌の色を見比べて、紫色や白っぽくなっている場合はすぐに病院へ向かってください。

他にも「毛が薄くなってきた」というのも、薄い場所によってはホルモン疾患の症状であることもあります。他に多飲多尿などの症状があれば病気のサインかもしれません。



このように身体チェックもとても大事になってくる高齢期。不調をうまく訴えられないわんちゃんとは、毎日一緒に過ごしていても変化がわかりにくいこともよくあります。特に老いてきたなど思っても、自分でどこをチェックすればいいのかわからないという方は健康診断以外の時でも定期的に病院で身体チェックをしてもらいましょう。

おうちで出来る定期的な身体チェック

皮膚

できものができた(その中で成長が早いできものがある場合は注意)
毛が部分的に薄くなってきた
♂→睾丸が固くなった、片方だけ大きい
♀→陰部が腫れて大きくなった、おりものが出ている
お乳周りが固い、張っている

関節

抱っこする時などに膝がポキポキなる

口腔

歯の付け根、全体が黄ばんでいる
歯茎(歯の生え際)が赤く腫れている
クシャミ・鼻水がよく出るようになった

食事

お水を良く飲み、おしっこの量(回数)が増えてきた
食事量が減っているのにお腹が膨らんでいる気がする
食事量が増えたのに痩せてきた など



もっと詳しく身体チェックすることで早期に発見できる病気もあります。

いつもと違う体調の変化があった場合は獣医さんに細かく伝え、細かい身体チェックをしてもらいましょう。